



## マンスリーレポート report

### report

#### ■2006年マンスリーNEWS番外編 中国・杭州レポート

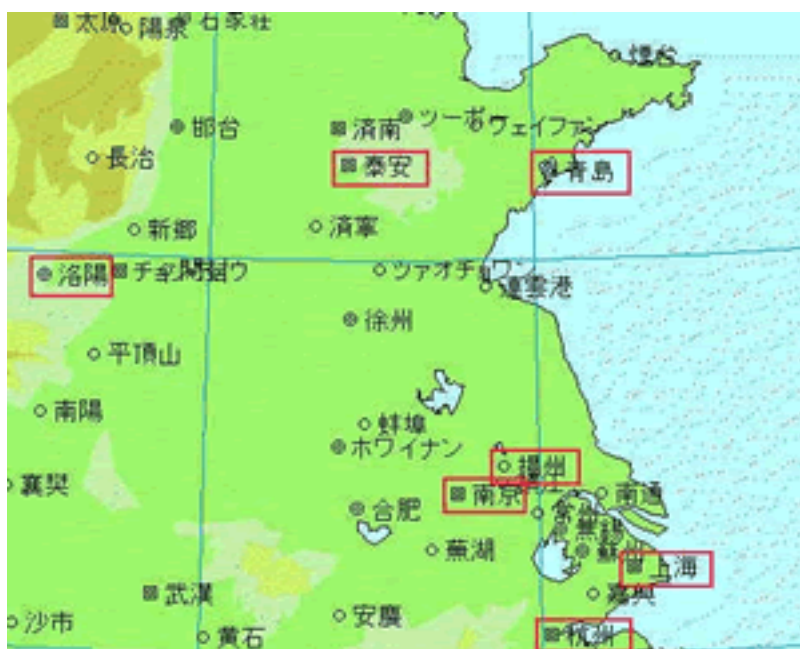
今回は特別編として4月13日～4月16日に行きました。

中国・杭州のレポートをお伝えしたいと思います。

中国・杭州はどこにあるのか？といいますが、下の地図を見てください。



こちらが大きな地図です。大きいですね中国！



上海の左下が杭州になります。

杭州までは国際線で成田より約2時間20分で行けます。かなり近いです。午前中9:55分のフライトで杭州へはお昼の12:15分には着きます。渋滞で国内に行くより近く感じます。

**まずは杭州についての基礎知識です。**

#### 行政と人口

杭州は上城、下城、江干、拱墅、西湖、高新（濱江）、蕭山、余杭と5つの県、県級市、富陽、臨安、建徳、桐廬、淳安を管轄している。総面積は1696平方キロで、市内面積は3068平方キロである。2005年の年末まで、杭州の総人口は651,68万人、其の内、市内人口は401,59万人で、住民の大部分は漢民族で、回族、モンゴル族、満族、ウイグル族、朝鮮族等の23の少数民族です。

#### 経済

杭州の経済は早いスピードで発展し、連続14年間渡って、GDPは二桁増加している。2004年度の経済力ランキングでは、全国各省都の中で第二位、副省クラスの都市のなかで第三位、全国大中規模都市の中で、第八位にランキングされている。

## 治安

杭州は中国の最も治安の良い都市のひとつです。

## 気候

亜熱帯モンスーン気候に属し、温かく湿気が高く、四季がはっきりしている。年間平均気温は16.2°Cであり、年平均降雨量は1500mmで、年平均降雨日数は155日です。六月は杭州の梅雨の季節で、春（3～5月）と秋（9～11月）は暑くも寒くもなく、旅行シーズンです。



出発前、3月28日から直行便が飛んでいる。



蕭山国際空港近く



杭州市内

## 東方のレジャー都

中国杭州は上海まで約2時間、中国の最も幸福感のある江南の都市のである。西湖遊覧、新湖濱散歩、西溪湿地の船遊び、茶館で喫茶、杭州料理を味わい、足裏マッサージ、伝統保健按摩等があり、中国国内でも有数の観光地で「東方のレジャー都」とも呼ばれている。

2006年杭州世界レジャー博覧会が2006年4月22日～10月22日まで杭州で開催される。100以上の豊富多彩なイベントは杭州にいつ来ても、世界レジャー博覧会の雰囲気を感じられる。

ではレポートをお伝えします。

今回は、M構成担当がレポートをお伝えしますので宜しくお願いします。

## 4月13日（木）

JAL 635（9:55）発で杭州へと出発。

今回の旅行のメンバーはN氏、Y氏、K氏と私Mの4名での旅行となりました。

N氏は観光では時間のある限りどこへでも行っていもう行動派。

Y氏は言わずと知れた我が社のレジャー部員の一人、中国に毒されてきた。

K氏は今回、旅行には初参加、旅行バックの鍵をいきの車に忘れてしまい、ポーターの人にカバンを壊してもらい、行きと帰りは違うカバンのなかなかまねの出来ないキャラクター。

私Mは中国3回目で前々中国語がしゃべれずに常に中国の人には日本語で対応のマイペース派。

杭州の空港へ到着してびっくり寒い！20°C以上だと思っていたら、なんと10°Cぐらい、ガイドさんに聞くと先週は30°Cぐらいだったとのこと。

美人で日本語が上手なガイド陳さんと合流し、まずどこへ行こうと交渉。（本来はホテルに直行が普通だがわれわれは違う・・・）

まず向かったところは**江南水郷—烏鎮** 空港より車で約1時間半ぐらいかかりました。

烏鎮は杭州より約80キロを離れ、浙江省桐郷市の北部にあります。1200年の悠久な歴史を持っている烏鎮は江南古鎮の風貌を完全に残しております水路が網の目のようで古い岸辺や水閣そして水郷のゆったりとした趣きは典型的な江南の風情をなしています。

烏鎮は昔から賑やかな町で、民俗がとても素朴です。桐郷市の拳船・花鼓戯・影絵芝居・縁日の市など独特な民俗風情はこの町の濃厚な水郷の心持ちを表わしています。有名な物産—杭白菊は香りも良くて、体にも良い。手漕ぎ小船に乗ったら、まるで古い映画のシーンに入ったようです。



ガイドの陳さん 杭州は美人が多い？



烏鎮の入り口



水路の中の町

烏鎮はまさに日本の江戸時代の城下町のような雰囲気です。陳さんの写真のように町の真ん中に水路が通っていて、行きは歩いて上の方まで行きかえりは小舟で帰ってきます。なんか日本でもありそうな感じですが？中国国内の方が多く観光されていて人気の観光スポットだそうです。



生活用の水として水路の水を利用して洗濯している・・・ この水路の高さは一定に保たれている。(水門によって)



路地はこんな感じです。



染物もしています。



こんな狭い路地もあります。壁が高い！



これは古い時代のいわゆるベッドです。

細かい木彫りほど階級が高い人が使用するそうです。

酒倉もあります。かなり強い中国酒その場で飲ましてもらいます。



小舟はこんな感じ！



舟からの景色！



舟からの景色もうすぐ終点！

## 舟を待っているときの出来事。

帰りの舟の乗り場に行くとき混んでいて、20分ぐらい私が舟の順番を待っているの、そこら辺を見てきてと陳さんにいわれ、周りを散策して時間より少し遅れて乗り場へ行くと陳さんが舟乗り場でなにやら口論しているではないですか。すぐに近くに行くと我々の順番を取っていたのが問題で、後から並んだ男性と口論となり大喧嘩！「私は前から並んでいたのよ！」と陳さん、後ろの男は、「ほかの人は今いなかったじゃないか」と口論（予想、中国語なので）すごい攻防の末、陳さんの勝利！女性ながら顔を真っ赤にしての攻防すごかった。乗り場の階段で両腕を組んでその男性の前に出て一步も動かない姿勢さすがに男性もあきらめてお手上げ状態！中国女性恐るべし！

これを見て私は中国の女性は強いと再認識される出来事だった。（普段はかなりやさしいチャーミングな女性）

鳥鎮を後にして宿泊ホテルのある杭州市内に向かいました。約1時間半ぐらい。

空港からの道のりもそうでしたが1本道が多くほとんど高速です。こちら的高速はまだ整備されていないので途中から車が入ってきたり、逆走してきたり大変です。1時間ぐらい走ると片側3車線の整備された道になってきました。高層ビルもちらほら出てきて、さらにもう少し走るとネオン・看板が多くなってきました、渋滞もしてきて、ここは東京かと思うぐらいの渋滞です！

少しずつ進むとビル・人・車とその多さにビックリしました。

まだこれから建設中のビルも多く見かけましたのでこれからの発展はすざましと思われま。

そして今回の宿泊先のホテルホリディ・インに到着しました。まずは荷物を置いて食事に行くことに。



中国は右側通行、左ハンドルです。



左のビルがホリディ・イン



交差点、人の流れが激しい。

この日の夕飯は陳さんの紹介レストランで杭州料理を食べることになりました。



ここは河坊街の近くの高銀街  
(中華レストラン街) にあ  
る **大宋**  
**坊** というレストランです。



日本で言う地ビール、杭州ビールです。



竹の子です。塩味で少し辛いかな。



クラゲこれがうまい！サッパリしている。



青物の炒め物。さっぱりしている。



海老の炒め物。これもさっぱり塩味。



グリーンピースと竹の子の炒め物。



この饅頭は中に挽肉を入れて食べる。



竹の子のたれのようなもので炒めた物。



スープこれは漢方の味。うまい。

**東坡肉**は北宋の蘇東坡が杭州太守を勤めた時に西湖の浚渫工事を行い、その際、出稼ぎ労働者の苦勞をねぎらうためにこの食べ物を作ったという。今まで既に900年の歴史がある。その特徴は、深紅色の肉、柔らかい歯ごたえ、しつ



こくない味にある。

杭州に行ったら1度は食べたほうが良い名物料理です。

なんか豚の角煮に似ている感じ。

腹ごしらえを終え **河坊街** を散策 夜店が並びます。

少し歩くと露天の市場があります。夜8時からだそうです。ここは数ヵ月後にはなくなるそうです。

この市場ではバツタ品いわゆるコピー商品が売られています。スーパーコピーが多く本物と見分けがつかないものも多くあり、中でも時計が多くあります。その他カバン、バック、サングラスなんでもあります。

ここでは交渉が一番大事になってきます。アジアの国では物を買うときは対外値引き交渉から入ります。なぜなら値段があってないようなものなのです！

交渉上手な方はここに来て良い買い物ができるでしょう、しかし相場を知らないととんでもなくぼったくられることもあるかも知れません。ガイドさんと一緒にこられたほうが安全でしょう！

ちなみに私達は良い買い物をしたと思います。若干1名は目もくれませんでしたけど・・・・・・・・・・



河坊街の中心街



市場の入り口



何か怪しげな雰囲気



河坊街の中心街



何でも売っている



これがコピー品

ここでガイドの陳さんと別れ、私達はタクシーをひろいホテルに帰って行きました。

長かった1日目が終わる夜は更けていきました。次回は2日目です。

[その2 続きを読む](#)

■マンスリーNEWS アーカイブ

<a href="#">➡</a>	最新	<a href="#">マンスリーNEWS トップページ</a>
<a href="#">➡</a>	2005年度	<a href="#">2005年のマンスリーNEWS アーカイブ</a>
<a href="#">➡</a>	2004年度	<a href="#">2004年のマンスリーNEWS アーカイブ</a>